

A(2):1

FRaTacsは「床(建築)と空調(設備)が高度に一体化したシステム」なので、劣化した床の全面改修と空調設備整備を同時に実施することになります。

- 学校体育館の床板のササクレによる重篤な負傷事故が多数発生しています。特に、築年が古く劣化した学校体育館は、床の全面改修による安全対策が喫緊の課題になっています(図表A(2):1-1)。
- 全国の学校体育館は約80%が築後30年を超え、約60%は40年を超えています。学校体育館の空調設備整備にあたって、この老朽化が空調整備を阻むが重大な課題になっています(図表A(2):1-2)。
- 維持管理状況にもよりますが、学校体育館の床の寿命は20年といわれ、全国の学校体育館の90%超の床は改修時期をすでに超過していると推定します(図表A(2):1-3)。
- 築年が古い学校体育館は、もはや、床の改修が必要かどうかではなく、待ったなしの状況なのです。FRaTacsは、床の安全性向上、断熱性確保及び長寿命化と空調設備整備を同時に実現する画期的なソリューションなのです。

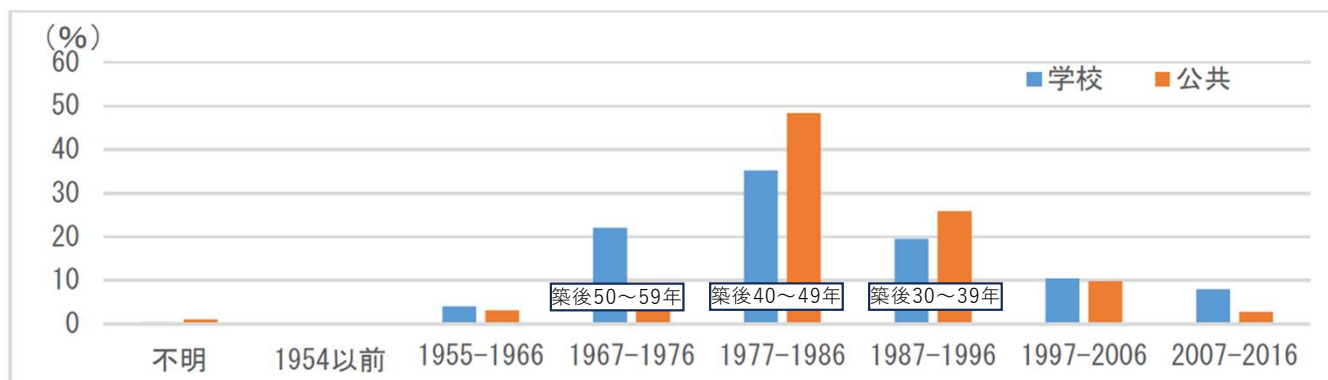
図表A(2):1-1、体育館の負傷事故例



東京都内の公立中学校(令和7年1月発生)
床板が剥離した箇所及び剥離した木片
(生徒に刺さった木片は左側のもの 長さ:1.7cm)

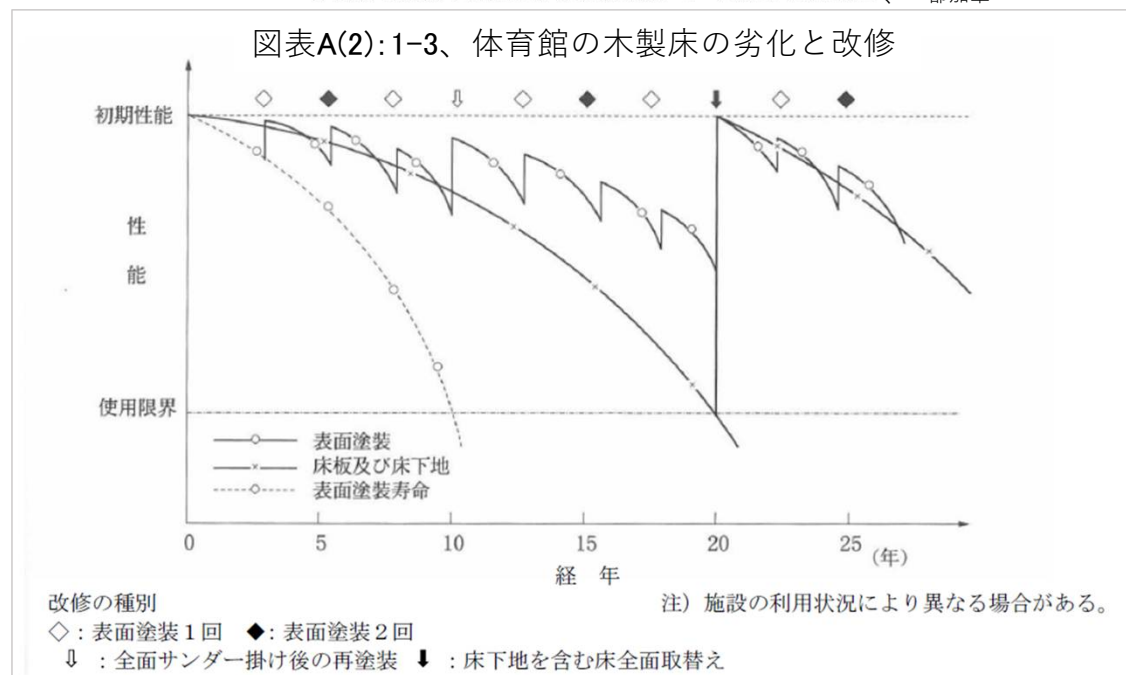
出典：文科省、体育館の床板の剥離による事故防止について、令和7年5月。

図表A(2):1-2、体育館の竣工年(学校n=1,601、公共n=641)



出典：消費者安全調査委員会、消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書
—体育館の床板の剥離による負傷事故—、平成29年5月29日、一部加筆

図表A(2):1-3、体育館の木製床の劣化と改修



出典：前掲報告書からの孫引き_p.20_図9に一部加筆